

公表

事業所における自己評価総括表 第2 コロコロ琉球教室

○事業所名	第2 コロコロ琉球教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月26日		～ 2025年3月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年2月26日		～ 2025年3月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重度児から高機能児まで幅広く発達を促すプログラムを持っており、一人一人の児童に細やかに個別支援計画を策定して問題行動の改善、身体機能の向上、言語認知力の向上を図っている。	コロコロメソッドという体系化された発達プログラムにのっとり支援している。	保護者、さらには他事業所や公立学校への支援プログラムの周知に努めたい。
2	保護者との連絡を密にとり、保護者自身が療育出来るよう支援している。	定期的な面談、ペアレントトレーニング、療育方法についての勉強会など細やかに設定している。	家庭環境が複雑なケースについて、他事業所や行政と連携した支援が行えるよう発信している。
3	保護者向け講座、一般向け講座、学校訪問など啓蒙活動に力を入れている。	保護者全員対象の講座、新規入会保護者対象の勉強会、学校教員やデイ職員に対して療育理論と具体的な方法をお伝えしている。	SNSなどを活用してさらに多くの人に望ましい支援方法を伝えていけるように努めている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への安全計画の周知が弱い。	療育内容の共有に多くの時間を割いているため。	おたよりやSNSを活用する。
2	地域住民との交流の機会が少ない。	強度行動障害を抱える利用者が多く単なる交流では療育的な活動とならないため。	周年記念イベントのように一般客を招いた行事を企画し、日々の活動についてご理解を頂くよう努める。
3	活動スペースが狭い。	入会者が増え現在の事業所が手狭になってきている。	戸外活動と室内活動を組みあわせるなど、安全な配置で職員と利用児をグループ分けする。